

# 江戸時代の 武家屋敷跡を探る



道路状遺構（幅約3m）

当該地は江戸時代の都城の統治機関である領主館（現在の市役所・明道小学校周辺）に隣接する場所で、武家屋敷群が広がっていた場所とされます。

今回の調査では、古絵図と符合する道路状遺構や武家屋敷に付随すると考えられる大型の縦穴状遺構、溝状遺構などが確認されました。

また、多量の江戸時代の陶磁器類（薩摩焼や肥前系陶磁器（現在の佐賀県などの窯で焼かれた陶磁器））も出土するなど、貴重な遺構・遺物が数多く発見されました。

## 八幡遺跡発掘現場説明会

令和5年5月13日(土)

10:00~12:00 (随時受付)

場所：明道小学校北側

どなたでもお気軽にご参加ください。

主催：都城市教育委員会 文化財課

問い：TEL 0986-23-9547

※5月13日当日は、お電話つながりません。

あらかじめご了承ください。

